

2025 年度 事業計画

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

1. 運営方針

定款第 4 条に示された本会の目的を達成するための継続的な事業を推進するとともに、2016 年 6 月 16 日の定期社員総会時に紹介された「将来構想 2016」に掲げられた提言を 1 つ 1 つ確実に実施していくことを大きな運営方針として連合会の運営を行う計画である。一方、「将来構想 2016」の更新に向け、ロードマップ 2030 を基に提言の進捗の確認と見直しを、活性化企画特別委員会を中心に検討していく。

国内での国際会議の開催を企画・運営し、国際活動の促進を行う。2026 年に日本開催の ARMS14 が ISRM International Symposium になったことから、円滑で盛況な開催になるよう準備活動を行う。また、新たに立ち上げたバイオロックメカニクス研究企画特別委員会を基盤として ISRM の Commission とも連携し、岩の力学分野における日本の国際的な影響力の強化を進める。さらに、連合会の各賞と ISRM の各 Award との関連性を明確にすることで、ISRM Awards への積極的な推薦を行う。

財政改革については、Web 会議システムを併用することによる理事会および常設委員会を開催し運営の効率化を図るとともに、会員サービスの向上による新たな会員の加入に取り組む。

2. 2025 年度定時社員総会（通算 48 回）

2025 年 6 月 2 日（月）京都大学東京オフィスにおいて、Web 会議システム併用のハイブリッド開催として、2024 年度事業報告および収支決算報告、2025 年度事業計画および収支予算についての報告を行う。

3. 理事会

理事会を 3 回以上開催し、会務運営上の諸事項を決定する。必要に応じて書面会議を開催するとともに Web 会議システムを活用し運営の効率化を図る。また、会員サービス、会計業務および National Group 事業（国内シンポジウム、国際シンポジウム・国際会議の支援、創造的提案事業、表彰・奨励制度等）についての会務運営上の重要事項を審議する。

4. 常任理事会

会員サービス、会計業務および National Group 事業（国内シンポジウム、国際

報告 1

シンポジウム・国際会議の支援，創造的提案事業，表彰・奨励制度等）についての会務運営上の重要事項を審議する。必要に応じて三役調整会議を実施し，会務運営事項の整理を行う。

5. 専門幹事会

会務運営に関する計画立案ならびに事務処理を行う。なお，活動に関しては，理事会または常任理事会において議論する。

6. ISRM 事業への参加・協力

- ・ ISRM Council meeting および Asian Council meeting への協力・参加
- ・ ARMS14 の準備

7. 国際会議・国内会議開催の準備・実施

- ・ 岩盤工学基礎講座の開催

8. 常設委員会

(1) 広報委員会

- 1) 「岩の力学ニュース No. 155～158」を編集，発行するとともに，連合会 Website (Rock Net Japan)において、パスワードによる会員限定公開を行う。
- 2) 配信依頼に基づき、Rock Net メールを配信する。
- 3) Rock Net Japan のメンテナンスを行うとともに、海外イベント等各種情報の提供を行う。
- 4) 岩盤工学基礎講座を企画、立案し、開催する。

(2) 国際技術委員会

- 1) 岩盤工学に関する国内技術の国際化に関する支援
 - ・ ISRM Suggested Method の改訂活動支援
 - ・ Commission、Joint Technical Committee での活動支援
- 2) 若手技術者への活動支援
 - ・ 若手技術者の海外活動助成

(3) ジャーナル編集委員会

- 1) 電子ジャーナル委員会の開催（2回）
 - ・ 掲載論文の増加策の検討
 - ・ 原稿テンプレートと投稿フォーム・著作権委譲書の更新
 - ・ 新編集室の内容の更新と充実
- 2) 第 21 巻第 1 号（2025 年 1 月～12 月）に追加掲載される原稿の確認・査読・

報告 1

審査・編集、発刊と J-stage への登録

・岩の力学連合会賞受賞者各位への電子ジャーナル投稿の依頼

3) 第 22 巻の編集準備

4) 電子ジャーナル 第 21 巻 冊子体（賛助会員向け）の発刊

(4) 岩の力学連合会賞選考委員会

1) 連合会賞「博士論文賞」の募集, ISRM Rocha メダルへの推薦

2) 連合会賞「論文賞」, 「技術賞」, 「若手技術者賞」の募集, ISRM Young Rock Engineer Award, John Hudson Rock Engineering Award への推薦

3) 各賞の審査

4) 連合会賞の決定

5) 定時総会での賞授与式と受賞講演会の実施

(5) 総務委員会

1) 会計・労務

・会計, 労務管理

・予算案の作成

・理事会, 常任理事会の運営

2) 規則・細則

・規則・規定類の整備

3) 海外連絡

・ISRM 本部および海外との連絡業務

・国際シンポジウム案内等の Rock Net Mail 発信

・アジア諸国との国際交流の計画策定および実施

(6) 選挙管理委員会

岩の力学連合会選挙・選任規則に基づき, 代議員の選挙に関する事項を行う。

(7) 賛助会員会議運営委員会

1) 委員会の開催

2) 賛助会員会議の開催

3) 賛助会員の意見のとりまとめと理事会への提言

9. 特別委員会

(1) 活性化企画特別委員会

1) 「将来構想 2016」の更新に向けた検討

2) 財政健全化に向けた協議

報告 1

3) 賛助会員会議運営委員会からの「提言」の実施協議

(2) バイオロックメカニクス研究企画特別委員会

- 1) 国内特有の課題解決に向けたプロジェクトの立案
- 2) 国内・国際ワークショップの企画・運営
- 3) 若手研究者や学生を対象とした育成プログラムの構築
- 4) 国際的な研究活動との連携を通じた成果の普及と発信

10. 国内会議等活動支援

(1) 各学会開催行事などの共催・後援

以上